

ノックアウト

ノックアウト のつくあうと

燃料ペレットの表面近くに存在するFPガス（キセノンやクリプトン等）原子が、核分裂片による衝突や、カスケード状衝突によりペレットから放出される機構をノックアウト（またははじき出し）という。FPガス放出機構（リコイル、ノックアウト機構および拡散機構）のうちの1つである。放出されたFPガスは燃料棒内のフリーボリューム（空隙）を満たし、ペレット-被覆管ギャップの熱伝達率を低下させ、燃料温度を上昇させると同時に、燃料棒内の圧力上昇を引き起こす。この機構は燃料の温度に依存しない。

<登録年月>

2007年10月
